



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月4日

上場会社名 株式会社N・フィールド 上場取引所 東
 コード番号 6077 URL http://www.nfield.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高木 三愛
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)久保 明 (TEL)06-6343-0600
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	4,377	43.5	326	35.0	328	54.2	155	70.9
27年12月期第3四半期	3,050	45.5	242	△4.3	212	△12.0	90	△17.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	11.93	11.92
27年12月期第3四半期	6.91	6.88

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	2,553	1,602	62.8
27年12月期	2,484	1,709	68.8

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 1,602百万円 27年12月期 1,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,050	39.0	459	△10.8	460	△5.3	220	△16.5	16.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期3Q	13,210,000株	27年12月期	13,175,000株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	216,300株	27年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期3Q	13,028,409株	27年12月期3Q	13,175,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策などを背景に、企業業績の向上や雇用情勢の改善などが進み、景気は緩やかながらも回復基調で推移しました。一方では、中国をはじめとする新興国市場の減速、国内においては円高方向への動きや日銀のマイナス金利政策導入など、依然として先行き不透明感を払拭できない状況となっております。

こうしたなか、当社の主要事業である精神科訪問看護事業を取り巻く環境につきましては、引き続き精神障害者の医療の確保や退院促進に関する改革が進められており、在宅医療へのシフトはより鮮明になっております。

このような環境の中、当社は拠点数拡大を図っており、当第3四半期累計期間において事業所29拠点、営業所15拠点の新規開設、加えて6営業所の事業所への形態変更を実施し、当第3四半期累計期間末の拠点数は102事業所、41営業所の計143拠点、45都道府県への進出を果たしました。また、引き続き積極的な採用活動による看護師確保、教育プログラムの充実、マネジメント層への研修に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,377,876千円（前年同期比43.5%増）、営業利益は326,831千円（前年同期比35.0%増）、経常利益は328,290千円（前年同期比54.2%増）、四半期純利益は155,442千円（前年同期比70.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は1,463,111千円（前事業年度末残高1,423,137千円）となり、前事業年度末に比べ39,973千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が171,959千円減少したものの、売掛金が187,847千円、流動資産のその他に含まれる前払費用が19,582千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は1,090,276千円（前事業年度末残高1,060,880千円）となり、前事業年度末に比べ29,396千円増加いたしました。その主な要因は、有形固定資産のその他（純額）に含まれるリース資産が10,652千円、無形固定資産に含まれるソフトウェアが11,704千円減少したものの、無形固定資産に含まれるソフトウェア仮勘定が17,841千円、投資その他の資産に含まれる差入保証金が51,274千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は770,404千円（前事業年度末残高587,483千円）となり、前事業年度末に比べ182,920千円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等が73,515千円減少したものの、短期借入金125,000千円、未払金が110,060千円、賞与引当金が28,302千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は180,269千円（前事業年度末残高186,642千円）となり、前事業年度末に比べ6,372千円減少いたしました。その要因は、退職給付引当金が12,646千円増加したものの、長期借入金が12,528千円、固定負債のその他に含まれるリース債務が6,490千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は1,602,714千円（前事業年度末残高1,709,892千円）となり、前事業年度末に比べ107,178千円減少いたしました。その主な要因は、当第3四半期累計期間に四半期純利益を155,442千円計上したものの、自己株式の取得199,949千円、配当金の支払65,875千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月8日の「平成27年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました平成28年12月期通期の業績予想を修正いたしました。なお、詳細については、本日(平成28年11月4日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	419,688	247,728
売掛金	916,051	1,103,899
貯蔵品	1,823	2,805
その他	86,477	109,848
貸倒引当金	△902	△1,170
流動資産合計	1,423,137	1,463,111
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	392,729	387,451
土地	370,520	370,520
その他(純額)	51,978	38,440
有形固定資産合計	815,228	796,412
無形固定資産	89,215	94,992
投資その他の資産	156,436	198,871
固定資産合計	1,060,880	1,090,276
資産合計	2,484,018	2,553,388
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	125,000
1年内返済予定の長期借入金	16,704	16,704
未払金	274,291	384,352
未払法人税等	153,763	80,248
賞与引当金	12,694	40,996
その他	130,029	123,103
流動負債合計	587,483	770,404
固定負債		
長期借入金	146,944	134,416
退職給付引当金	26,166	38,812
その他	13,531	7,041
固定負債合計	186,642	180,269
負債合計	774,125	950,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,500	731,950
資本剰余金	699,500	701,950
利益剰余金	278,813	368,381
自己株式	—	△199,949
株主資本合計	1,707,813	1,602,331
新株予約権	2,079	382
純資産合計	1,709,892	1,602,714
負債純資産合計	2,484,018	2,553,388

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,050,530	4,377,876
売上原価	2,128,341	3,224,714
売上総利益	922,188	1,153,162
販売費及び一般管理費	680,040	826,330
営業利益	242,148	326,831
営業外収益		
受取利息	494	434
投資有価証券売却益	2,476	—
保険解約返戻金	—	4,382
その他	169	355
営業外収益合計	3,140	5,173
営業外費用		
支払利息	3,820	2,650
自己株式取得費用	—	1,063
株式公開費用	28,503	—
営業外費用合計	32,324	3,714
経常利益	212,964	328,290
特別利益		
固定資産売却益	—	2,273
自己新株予約権消却益	—	1,663
その他	—	33
特別利益合計	—	3,969
税引前四半期純利益	212,964	332,259
法人税、住民税及び事業税	130,944	184,705
法人税等調整額	△8,953	△7,888
法人税等合計	121,990	176,817
四半期純利益	90,973	155,442

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、普通株式216,300株を取得いたしました。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が199,949千円増加しております。

(セグメント情報等)

当社は、居宅事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。